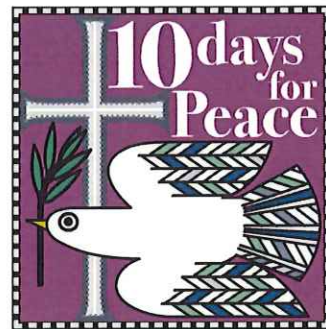


主催：カトリック札幌教区  
エキュメニカル委員会  
+  
正義と平和協議会



the Catholic Diocese of Sapporo

2023年  
日本カトリック  
平和旬間<sup>8/6</sup>~15

# 8月15日 平和をを求める1日

2023年 8月15日(火) 12:00~  
札幌教区カトリックセンター1階



2023年、札幌地区での平和祈願ミサ中止の決定を受け、今年は教区エキュメニカル委員会と教区正義と平和協議会の協働により、8月15日(火)に「8月15日 平和をを求める1日」を実施することになりました。

日本の終戦記念日であるこの日、聖母の被昇天のミサに与ったのち、絶えることのない戦争により亡くなった人々の魂の平安を祈り、今も苦しみ続けている人々へ寄り添うために、一人ひとりの思いをそれぞれのかたちで持ち寄る一日であればと思います。

また、プロテスタントによる平和集会~平和行進に臨み、より深い交流をめざします。

この1日が、一人ひとりの、また私たちの、祈りに満ちた日になりますように。

12:00 ころ「平和のひととき」スタート \*上映やライブは 13:30~

“平和を話しましょう” 昼食をとったりお茶を飲んだりしながら自由に話しましょう

“展示・上映プログラム” 平和を考えるために、見て、考え、話しましょう

“ライブプログラム” 平和を賛美する歌や演奏など

“物販” 書籍、冊子、グッズなど



会場のようなすはオンラインでも配信予定です  
こちらからどうぞ 13:30~「平和を祈る会」終了まで

<https://onl.bz/nSw8Cbt>

ミーティング ID: 813 5078 5260 パスコード: 770180

16:00 養島克哉神父による「平和を祈る会」

私たちの祈りを一つに束ねて捧げましょう

自由に  
ご参加ください

\*  
展示や演奏の参加希望、  
その他お問い合わせは  
こちらまで  
090-1641-9595  
(正平協：佐藤裕子)



平和を祈る

メッセージカードづくり  
館内にしばらくのあいだ展示されます

閉会后、希望者は北海道クリスチャンセンター(北7西6)のプロテスタントの平和集会へ参加します。

\*配信される予定です あらためてお知らせいたします

プロテスタントの  
8月15日  
プログラム

18:00 平和集会(北海道クリスチャンセンター)  
講師=ディヴァン・スクルマン牧師(台湾基督長老教会牧師)  
19:30 平和行進・クリスチャンセンターから大通公園西3丁目へ  
祈りの交流



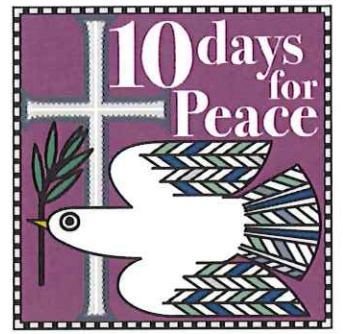
主催：カトリック札幌教区正義と平和協議会

# 石田國夫さん平和講演会

## 中央道開削工事・

## 常紋トンネル工事の

## 実相に触れる…



the Catholic Diocese of Sapporo

2023年  
日本カトリック  
平和旬間 8/6~15

参加無料

2023年 8月5日(土) 13:30～ 開場：13:00

札幌教区カトリックセンター＋オンライン配信  
札幌市中央区北1条東6丁目 ZOOM 使用

\*会場参加の方は、申し込み不要です  
\*感染拡大に注意の上ご来場ください

明治24年5月～12月、この非常に短い期間に旭川と網走を結ぶ国道、中央道の開削工事が行われました。また大正元年から三年の歳月をかけ、石北本線（旭川～網走間）の常紋トンネルが建設されました。どちらも北海道の中央を貫く山々を削る困難を極める工事であり、非人道的な「タコ部屋」労働の末、多くの労働者が犠牲になり、今も掘り起こすことのできない百数十を超える死体があるとも伝えられています。

「枕木1本、人1本」

「死んでからもレールを担ぐのは嫌だ!…」

残された証言から工事の実相をうかがい知ることができるといいます。いったいどんな工事だったのか、どんな人々がこの工事を担ったのか…

北海道開拓の現場の実相… その非人道性は、現在における外国人労働者への日本の対応にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

今年の平和講演会では、「郷土を掘る会」の石田國夫さんを講師にお招きし、非人間的環境下での労働実態についてあらためて見つめ直し学びたいと思います。

\*お問い合わせ=090-1641-9595 (正平協：佐藤裕子)

\*オンライン参加をお申し込みの方は、以下のURL、またはQRコードから申し込みフォームへどうぞ(メ切：8/4 19:00)

<https://forms.gle/fcawc2Z4GRPFhcAo7>



そして秋、ともにその現場へ足を運んでみませんか？

札幌正平協では、国道沿いに点在する「中央道開削工事犠牲者の碑」と、留辺薬町の元金華小学校跡地に建てられた「常紋トンネル工事受難者追悼碑」、さらに当時のタコ部屋の状況を再現している網走監獄博物館や現在も鎖塚の残る場所などを巡るツアーを計画しています。毎年秋、道東のカトリック・プロテスタントの有志が、「2つの碑」を隔年ごとに訪れ行う追悼式にも合流します。